

安全対策連絡協議会

2024年12月4日
在ハンブルク日本国総領事館

1 治安情勢

1 一般犯罪情勢

➤ 混雑する場所ではスリ・置き引きに注意

クリスマス・マーケットなど人が多く集まる場所ではスリ・置き引きに注意が必要です。ポケットから財布を抜き取られる典型的なスリだけでなく、声をかけられ、気を取られている際に貴重品を盗られるスリ・置き引きが発生しています。

混雑する場所を訪問する際は、持ち物はできるだけ少なくし、貴重品は上着の内ポケット、ショルダーバッグ等盗まれにくい場所に保管しましょう。

➤ 年越しの外出に関する注意

ドイツでは、打ち上げ花火やロケット花火が購入できるのは年末の3営業日のみで、使用できるのは大みそかと元日のみです。年越しが近づくと、打ち上げ花火や爆竹などで盛り上がりますが、花火の打ち上げ場所に近づく時は注意してください。

過去には、年越しの祝賀に紛れて集団暴行事件が発生したことや、花火を楽しむ若者が暴徒化したこともあります。大みそかに外出される際は、騒動に巻き込まれないよう注意してください。

➤ 現金自動預払機（ATM）爆破による現金強盗に注意

ATMを爆破し現金を強奪する事件が多発しており、2023年には461件が記録されました。ドイツにはATMが約5万台以上あり、外国の犯罪組織の格好の標的となっています。実行犯はオランダ人が多く、ドイツ西部における被害が多くなっています。

爆破事件の多くは平日の夜間帯、特に2時から5時の間に実行されています。夜間に外出する際は、ATMの近くは避けて歩き、爆発や逃走車両に巻き込まれないよう十分注意してください。



2 テロ情勢

中東情勢は緊迫化しており、欧州におけるテロの脅威は高い状態が継続しています。今年8月には、西部ゾーリングゲン市内中心部の市政650周年記念祭において、男が刃物で来場者を襲撃し3人が死亡、8人が負傷する事件が発生しました。

警察や主催者はイベント会場等での警戒を強化していますが、外出先やイベント会場ではあらかじめ避難経路を確認しておき、周囲の異変に素早く気がつくことができるよう警戒心を持ち、事件に遭遇した際には、治安機関の指示に従い、周囲がパニックになっても冷静さを保つようにしましょう。

▶ テロの発生リスクが高まる可能性がある時期

- ・クリスマス・マーケット 2024年11月下旬から12月下旬
- ・断食月（ラマダン） 2025年2月28日（金）頃から3月30日（日）頃
- ・復活祭（イースター） 2025年4月20日（日）

3 抗議行動や暴動に巻き込まれないよう注意

中東情勢やウクライナ情勢などをめぐり、デモや集会が行われており、暴動や衝突に発展する可能性があります。デモや集会が行われている場所には、できるだけ近づかないようにしましょう。デモや集会に遭遇した場合は、巻き込まれることがないように、できるだけ早くその場から離れるようにしてください。



▶ 欧州で抗議行動が大規模な暴動へ発展した事件

・ 2023年6月～7月 フランス首都パリ郊外で車を運転していた少年が、検問中の警察官に射殺された事件を契機に、各地で抗議デモが発生し、移民系の若者を中心に暴動が発生しました。

若者たちは、建物を破壊したり車に放火したり、警察官に物を投げつけるといった行為を繰り返しました。



・ 2024年7月～8月 イギリス中部サウスポートのダンス教室で、少年が刃物で子どもを襲撃し、子ども3人が死亡する事件が発生しました。事件後、インターネット上で「実行犯はイスラム教徒の移民である」との偽情報が拡散され、各地で移民排斥を訴える暴力的な抗議活動が行われました。モスクや難民施設が襲撃され、車両や建物が放火されるなど大規模な暴動に発展しました。

・ 2024年11月 オランダ首都アムステルダムでオランダのサッカーチームとイスラエルのサッカーチームが対戦した後、応援に訪れていたイスラエルのサッカーチームのファンが襲撃され、数十人が負傷しました。

2 在留届の提出、「たびレジ」の登録

▶ 「在留届」の提出

3か月以上海外に滞在する場合、旅券法第16条により在留届の提出が義務付けられています。事件や事故の情報、注意が必要な日時・イベントに関する安全情報等が当館からメールで配信されます。

▶ 「たびレジ」の登録

旅行や出張に行かれる方が、滞在先や連絡先などを登録する緊急連絡システムです。滞在先に関する最新の安全情報のほか、緊急事態が発生した場合は、在外公館からメールで情報が届きます。「たびレジ」は旅行予定がない場合でも利用可能です。平時の情報収集にぜひご活用ください。

